

=====

アレルギー支援ネットワーク 通信 (仮称)

=====

NO.1 2007.1.1

-
このメールマガジンは、アレルギー支援ネットワーク会員のみなさまへお送りして
います。

*-**

新年明けまして、おめでとうございます。
アレルギー支援ネットワーク通信(仮称)です。

多くの方々に新鮮な情報をお届けするとともに、みなさまとの交流の場をさら
に増やしていきたいと願っております。

これからじっくりと確実に会員のみなさまとともに歩んでいきたいです。

今後とも、よろしくお願ひ致します。

創刊号発刊に携わってくださった方々に心より感謝致します。

★---☆ も く じ ☆-----★

1. アレルギー支援ネットワーク理事の声
 -その1- 理事長から みなさまへ
2. 会員からのみなさまへ
3. 賛助会員からのお知らせです -松下エコシステムズ株式会社-
4. 事務局の窓辺から -事務局長の巻-
5. 「2006 アレルギー大学」の報告(その1)です
6. ニュース・エトセトラ

☆-----★

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

◆-----◇

☆1. アレルギー支援ネットワーク理事-その1-理事長から みなさまへ ★

◆-----◇

～アレルギー疾患の新しい予防システムを探る～

明けましておめでとうございます。常日頃、アレルギー支援ネットワークにご
支援いただきありがとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

さて、昨年暮れに文部科学省より学校保健統計調査結果が発表されました。喘
息の有病率は幼稚園 2.3%、小学校 3.8%、中学校 3.0%、高校 1.7%で、いずれも
1996年当時と比較して倍以上に増加しています。またアトピー性皮膚炎は幼稚園

3.8%、小学校 3.6%、中学校 2.8%、高校 2.2%でありました。

このようなアレルギー性疾患の大幅な増加は、日本を始めとして豊かな先進諸国に共通した現象であり、原因についてもいくつかの仮説が提唱されています。その詳細は省略しますが、これまでの調査研究で喘息患者が何時、どのような条件で発症・悪化するのかと言う予防医学的な視点からの検討が欠けているように思われます。

もし喘息発作の起こりやすい要因や条件を見出すことができれば、それを基に発作予報を行い、予防措置を講じ、苦しい発作から逃れることも可能であると考えられます。特に喘息の発作と気象条件との関係は古くから指摘されており、典型的な気象病であります。

そこで我々は名古屋市消防局の救急搬送データから喘息を抽出し、気圧、温度、日射量などの気象条件や天気図型と喘息搬送との関連を検討しています。その結果、かなり高い確率で喘息の発症を予測できることが示されてきました。そこで今後、喘息の予報・警報システムを立ち上げ、会員の皆様に配信し、ご協力を得て予報結果（的中率）の検証を行いたいと考えています。

会員の皆様の健勝を祈念しつつ、ご協力をお願いいたします。

アレルギー支援ネットワーク 須藤千春

◆-----◇

☆2. 会員からのみなさまへ ★

◆-----◇

私は4歳3ヶ月になる息子がいます。フルタイムで働いているため0歳児よりお弁当持参で保育園へ通っています。息子は4ヶ月でアトピー性皮膚炎・食物アレルギーと言われ、五大+その他もろもろのアレルゲンがあり、完全除去をしています。

良い病院・医師に恵まれず、私の判断・自己学習にて2年ほどやってきました。症状が落ち着くことはなく落ち込むことばかりで子どもにあたることもしばしばでした。私自身も精神的に不安定になるほどでした。そんな時、アレルギー支援ネットワークのスタッフの方に出会い話をしただけでとても気が楽になりました。また、アレルギーを持つ親と子のために頑張っている姿に心を打たれ、と同時にパワーをもらいました。そのおかげで、今では、アレルギーを持っていて良かったかも？と思えるほどです。

悩みはつきませんが、子どもを通してアレルギーを知りアレルギーを通して人と人との関わりの大切さを再認識し、私自身成長させてもらっているんだなあと感じています。私がもらったパワーを次のアレルギーを持つ親・子へとつなげていけるといいなあと思っています。

“ニックネーム ミニーちゃん”より

◆-----◇

☆3. 賛助会員 松下エコシステムズ株式会社からのお知らせ ★

◆-----◇

アレルギー症に悩む方々にとって最も鬱陶しい季節・スギ花粉の季節がもうすぐ来ます。

当社は空気清浄機や除湿機・加湿機、各種換気システムなどで快適な室内空気環境を提供しています。

2003年に、花粉などのアレル物質を抑制する世界初『アレルバスター』搭

載の空気清浄機をアレネットに指導頂き開発・発売し、以来、住環境要因アレルギー物質の対策と一緒に啓蒙させて頂いています。

今年ウィルス、カビ菌・浮遊菌はもちろん、さらに17種類のアレル物質（9種類の花粉をはじめダニの死骸・フン、イヌ・ネコのフケ等）に対する効果を外部機関で検証した『スーパーアレルバスター』搭載の空気清浄機を発売し、この季節はもちろん年間を通して皆様のお役に立ちたいと考えています。

商品URL http://national.jp/product/air/air_cleaner/index.html

◆-----◇
☆4. 事務局の窓辺から ★
◆-----◇

～事務局長の巻～

あけましておめでとうございます。事務局を担当しています、中西です。

大学一年生の娘・中学1年生と3年生の息子の三人のこどもの母親です。娘が一歳の時に、食物アレルギーとアトピー性皮膚炎を発症して以来、18年間アレルギーとお付き合いをしています。

ご縁があり事務局を担当していますが、医師・大学教授・栄養士・建築家など、各分野の専門家でいらっしゃる理事の皆さんから日々教えていただくことばかりで、毎日が勉強です。

これからは、Web通信を通じて、皆さまにいろいろな情報をお届けしていきたいと思います。間違った情報に惑わされることなく、科学的な知識に基づいて賢くアレルギーとお付き合いすることが私のモットーです。どうぞよろしくお願いいたします。

◆-----◇
☆5. 「2006 アレルギー大学」の報告(その1)★
◆-----◇

☆006年7月～8月のアレルギー大学の報告です☆
多くの方々の参加をいただきました。ありがとうございました。

「アレルギー大学」～第1期研修講座～ アレルギー講座レポート

①2006年7月23日 午前の部 受講者数68人

「食物アレルギーの基本」

講師：伊藤 浩明

(あいち小児保健医療総合センター アレルギー科医科長・小児科医)

②2006年7月23日 午後の部 受講者数65人

「アレルギーの食品学・アレルゲンの基本」

講師：和泉 秀彦 (名古屋学芸大学管理栄養学部 助教授)

③2006年8月6日 午前の部 受講者数45人

「子どもの食育と給食・アレルギー」

講師：小川 雄二 (名古屋短期大学保育科 教授)

④2006年8月6日 午後の部 受講者数32人

「アレルギーに関する食品学・中級編」

講師：和泉 秀彦（名古屋学芸大学管理栄養学部 助教授）

⑤ 2006年8月20日 午前の部 受講者数39人

「アレルギー中級講座」

講師：伊藤 浩明

（あいち小児保健医療総合センター アレルギー科医科長・小児科医）

⑥ 2006年8月20日 午後の部 受講者数34人

「アレルギー対応給食献立と栄養」

講師：高木 瞳（岐阜聖徳学園大学短期大学部 助教授）

《受講者の声》

仕事をする中で、ピーナッツ除去を行っていましたが、アナフィラキシー・ショックをきちんと教えていただき、簡単に行ってはいけないことがよくわかりました。たまご牛乳も含め除去食をする上で勉強になりました。

（給食センター・調理員）

現在調理業務に従事していますが、栄養学の基礎がありません。アレルギー、アトピーに対して一般的知識はありましたが、それを更に正しい知識を知ることができました。是非今後も講座に出席して、栄養学、食品学、アレルギーに対しても知識を深めたいと思いました。

（給食センター・調理員）

よく聞く一般的な話とは違い、一歩踏み込んだ掘り下げた話を聞くことができ、有意義だった。今年はスケジュールがあわないが、機会があったらまた是非受講したいので企画して下さい。職業上、持っていた方がよい知識だと思い受講しました。現在日常でアレルギー対応はないのですが、アレルギーを持つお子さんの親御さんの切実な思いや意識の高さを感じ、今後の対応の際の参考になりました。

（学校・調理員）

アレルギーのことだけでなく、食育の大切さを改めて勉強できました。自分自身の親としての自覚不足を痛いほど身に浸みました。今日の講座は、一生心に留めておきたいと思います。ありがとうございます。

（学校・調理員）

食と心の関係についてわかりやすく知ることができた。アレルギー児は給食においても特別な存在となっていて、担任、栄養士の気遣いを感じてはいるが、毎日の給食は子どもたち一人一人のために作られているものなので、その人達の気持ちを知る機会が多くなっていくと、もっと給食を好きになっていけるのかなと思った。

（学校・栄養士）

◆-----◇

☆6. ニュース・エトセトラ ★

～お知らせ～

◆-----◇

① 《アトピー性皮膚炎の治療補助効果臨床研究モニター募集します》

最近、腸内細菌叢を整える働きを持った乳酸菌が、アレルギーの予防や治療に効果があるということが大変注目されています。NPO 法人アレルギー支援ネットワークでは、その効果を確かめるため、食品メーカーなどとの共同研究を行います。

つきましては、この臨床研究に参加を希望される方を募集します。

詳しくは <http://www.allie-net.com/> をご覧のうえ、NPO 法人アレルギー支援ネット

ワークまでご連絡下さい。

なお、予定人数に達しましたら、モニター募集は終了しますのでご了解ください。

【申し込み締め切り】 2007年1月 15日（月）

【問い合わせ・申し込み】

NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局（担当：中西）

FAX： 0564-55-5702 e-mail： nakanishi@alle-net.com

② 《2007年2月10日・11日 アレルギーっ子の集い・フェア開催します》

NPO 法人設立記念&「アレルギー給食教本」出版記念

1. 記念式典
2. 記念公演：宇理須厚雄さん・鶴飼愛子さん・須藤千春さん・
3. アレルギーっ子企画
4. 展示ブース
5. パネルスピーチ

詳しくは、<http://www.alle-net.com/> をご覧ください。

【問い合わせ】

NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局（担当：中西）

FAX： 0564-55-5702 e-mail： nakanishi@alle-net.com

③ 《アレルギー支援ネットワーク通信(仮称)の名前をご応募ください》

【応募先】 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局

FAX： 0564-55-5702（担当：中西） e-mail： sonoki@alle-net.com（担当：園木）

【締め切り】 2007年1月20日

【発表】 2007年2月1日発行 アレルギー支援ネットワーク通信(仮称) No.2

④ 《アレルギー支援ネットワークでは、一般会員を募集しています》

詳しくは、<http://www.alle-net.com/>「支援ネットについて」の

「会員の特典・入会書」をお読みください。

【問い合わせ】 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局（担当：中西）

FAX： 0564-55-5702 e-mail： nakanishi@alle-net.com

▲ 今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は
お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いて

アレルギー支援ネットワーク sonoki@alle-net.com（担当：園木）

までメールをお送りください。

★メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合
がございますが、ご了承ください。

★このメールアドレスは、送信専用ですので、各窓口の方にご連絡ください。

★会員のみなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せく
ださい。

アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇ 444-0802 愛知県岡崎市美合町三ノ久保 13-3, 103
▽TEL/FAX : 0564-55-5702 ▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----◇☆